

私たちの道

MCWAYを感じる

仕事のバトンの渡し方

仕事は専門家から専門家へのリレー形式で行われることが多い。
バトンパスをしながらチームでゴールを目指すゆえ、「次の人が走りやすいようにバトンを渡す」ことが重要。

【バトンを渡す方】

相手がきちんとバトンをうけとり、スムーズに走りだせるように準備を整える。
知識、経験、スキル、相手の状況などに応じて、仕事の渡し方を考え、準備する必要がある。
重要なのは、バトンを渡す方の想像力。『相手を思いやる気持ち』が足りないとバトンパスはうまくできない。

そして何より大切だと思うのは、リレーである以上、チームで目指すゴールは一緒である。
バトンを渡せば終わりではなく、

- ・ 相手が走っている間は、エールを送る(気にかける、ときにサポートも)
- ・ ゴールしたらともに喜ぶ(バトンを渡したら終わりではない)
- ・ 互いに労い、感謝する
- ・ より良くするためにともに考える

所属しているのは、「ちょっとおせっかいなくらい」が推奨されているチーム。メンバーから仕事を引き継ぐときには、相手が困らないようにしっかりと準備されていることが多く、バトンをもらう側は安心してバトンを待つことができる。だからこそ、自分が渡す側の時には相手のことを思って準備を整えようと思う。

仕事の規模や立場は関係なく、チーム全員でゴールを目指し、互いの力を最大限に発揮できるよう、しっかりとコミュニケーションを図り、思いやりの気持ちをもって、支えあい、高めあえる関係で日々仕事を進めることでチームの底力があがり、よりよいチームに成長し続けることができるのではないかな。